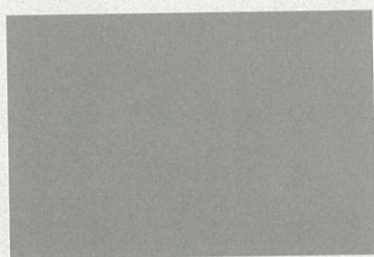


E-MADはオンラインで学べる現代アート为学校です。

E - MAD ■

S C H O O L



O F



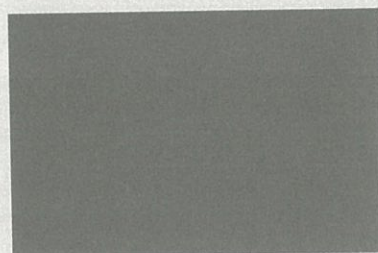
Organized by Arts Initiative Tokyo  
Twin Bldg. A-502, 30-3, Sarugaku-cho  
Shibuya-ku, Tokyo 150-0033 Japan  
<http://www.a-i-t.net/e-mad>

C O N T E M

P O R A R Y



A R T



# 現代アートの学校 MAD(Making Art Different)

## 2010年5月、現代アートの基礎をオンラインで学べるE-MAD誕生!

E-MADは、NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]が2001年に開講した現代アートの教育プログラム、MAD(Making Art Different =アートを変えよう、違った角度で見てみよう)の、オンライン講座です。

2010年度は、20世紀におけるアートの流れを丁寧に紐解いてゆく「1900年以降のアートの歩み」(Art Since 1900)と、世界のアートシーンから注目の話題を取り上げる「現代アートの最前線」(Art Information)の2講座を開講します。全てのレクチャーは、MADのコース・ディレクターのロジャー・マクドナルドによって行われ、各コース英文テキストを参照しながら、現代アートの歴史や最新状況を眺める上で最低限知っておきたい専門用語や考え方を日本語で解説します。配信される動画レクチャーは、学期内であれば何度でも視聴が可能のため、自分のペースで好きなときに現代アートの知識に触れることができます。

E-MADは、場所や時間の制約を気にすることなく現代アートについての知識を得たい方、最新のアートの議論や傾向を知りたい方、また、MAD2010の基本コースと組み合わせ、更に理解を深めたい方の要望に応えるプログラムです。

### 1. 1900年以降のアートの歩み (Art Since 1900) 現代アートをより深く!

2004年に英国で刊行された20世紀芸術の概説書、『1900年以降の芸術:モダニズム、アンチモダニズム、ポストモダニズム (Art since 1900: Modernism, Antimodernism, Postmodernism)』を読み進めながら、1900年から2003年までのアートが進化した道すじを学びます。現代アートの見方や考え方に多大な影響を与えた批評家たちによって編纂された本書は、海外の美術大学や研究機関において主要な教科書の一つとなっています。各回のレクチャーでは、本の構成にあわせ、1回のレクチャーで1年を目安に扱い、アートの流れを変えた芸術運動や思想、作品、批評を取り上げて、日本語で解説します。2010年度は、前・後期をとって1900年から1949年までの歩みを捉えます(後半は2011年度に開講予定)。絵画や彫刻中心だった「西洋美術」がどのように世界に広がり、写真や映像などの新しい表現形式に影響を受け、インスタレーションなどの新たな形を生み出しながら、「コンテンポラリー・アート」になったのでしょうか。現代アートの歴史を時間をかけて少しずつ学んでみたい方、MADの基本コースで得た知識を補完したい方にお勧めのコースです。

前期:2010年5月7日—2010年10月29日「1900年から1926年まで」印象派から構成主義、ダダまでの流れを学ぶ

後期:2010年11月5日—2011年4月29日「1927年から1949年まで」シュルレアリスムからアメリカ抽象表現主義までの流れを学ぶ

各回30分(教材あり)/各6ヶ月コース・毎週金曜日にレクチャーをアップロード

費用:各期¥21,000(税・諸費用込)

※読み進めるテキストの章の数は、前・後期とも同じです。/※レクチャーのアップロード後1週間は、ウェブサイトの掲示板にて質問を受け付け、寄せられたものから主なものを選んで返答します。

### 2. 現代アートの最前線 (Art Information) 現代アートをより広く!

海外のアート・マガジンやウェブサイトから記事を取り上げ、アート・マーケットの動きや美術館の新しい試み、話題のアーティストの新作や展覧会、また、デザインや建築などの分野に至るまで、アートシーンの最新の動向を幅広く紹介します。2010年度は特に、シドニー・ビエンナーレや光州ビエンナーレなどのアジア太平洋地域で開催される国際展からポスト金融危機におけるアート・マーケットの新しい取り組み、さらに美術館館長やキュレーター、ギャラリスト、アーティストなどのニュースからゴシップまで、さまざまなレベルにおいて世界のアートシーンを眺めます。レクチャーでは、参照する記事に登場する英語のキーワードを日本語で解説します。アート界のさまざまな動向について気軽に学んでみたい方、生きた英語によるアートの表現に触れてみたい方、また、海外留学を目指している方にお勧めのコースです。日々進化し続ける世界の現代アートのフレッシュな情報をお伝えします。

夏期:2010年5月7日—2010年7月30日/秋期:2010年9月3日—2010年11月26日/冬期:2011年1月14日—2011年4月8日

各回30分/各3ヶ月コース・隔週金曜日にレクチャーをアップロード

費用:各期¥8,400(税・諸費用込)

※各回取り上げる記事は、レクチャー配信ページで紹介しているリンクよりご覧になれます。

レクチャー:ロジャー・マクドナルド

1971年生まれ。イギリスのケント大学美術理論にて博士号を取得。2006年の第一回「シンガポール・ビエンナーレ2006」キュレーター。低予算で社会に介入してゆくインディペンデントな動き「タクティカル・キュレーティング」を調査するウェブログ「The Tactical Museum」を主宰するほか、武蔵野美術大学非常勤講師、女子美術大学非常勤講師を務める。

### お申し込み・お問い合わせについて

2010年3月1日より、お申し込みの受け付けを開始いたします。AITのホームページwww.a-i-t.netよりお申し込みください。

※E-MADは、個人情報を登録してお申し込みいただくインターネットサービスです。受講のお申し込みの前にAITのホームページにて「プライバシー・ポリシー」および「ご利用環境について」をお確かめの上、お申し込みください。/※受講の前に、必ず「サンプル動画」をご視聴の上、コンピューターでの動作に問題がないかお確かめください。/※お申し込みは随時受け付けています。開講中の講座への途中参加の場合でも、お申し込みいただいた学期内であれば、過去のレクチャーを何度でも視聴することができます。(ただし、「1900年以降のアートの歩み」の質問受け付けは、レクチャーのアップロード後1週間のみとなります。何卒ご了承ください。)/※一旦納入された受講料はご返金いたしかねます。/※法人での受講をご計画の場合は、AITまでお問い合わせください。

MADとは?—MAD(Making Art Different)は、2001年に開講した、独自の講義と理論を重視する現代アートの教育プログラムです。2010年度は、E-MADのほか、キュラトリアル・スタディーズやアート+コミュニケーション、アーティスト、マガジンの基本4コースと集中講座を代官山のAITルームにて開講しています。E-MADの詳細は、AITのホームページでご確認ください。

また、4月に開講されるMAD2010の基本コースについては、無料説明会「MADオープンデー」を行っています。基本コースについての詳細および資料請求は、AITのホームページをご覧ください。



NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]

150-0033 東京都渋谷区猿楽町30-3 ツインビル代官山A-502 <http://www.a-i-t.net> E-mail: [office@a-i-t.net](mailto:office@a-i-t.net) Tel: 03-5489-7277 Fax: 03-3780-0266

NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]とは?—AITはキュレーターやアート・オーガナイザー6名が、現代アートと視覚文化を考えるための場作りを目的として、2002年に設立したNPO団体です。個人や企業、財団あるいは行政と連携しながら、現代アートの複雑さや多様さ、驚きや楽しさを伝え、それらの背景にある文化について話し合う場をさまざまなプログラムをとって創り出しています。

http://a-i-t.net/e-mad